

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 雇用対策救援事業	
区分	番号	名称	
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる	
施策	4	雇用と就業環境づくりの推進	
小分類	1	生涯を通して働ける環境づくり	
主要な施策	3	高齢者の就業支援	
事務事業番号	001	事務事業コード 31413001	事業開始年度 昭和 5 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 雇用対策救援事業
部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 市内に居住する季節労働者等の生活安定を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 通年雇用対策救援事業(公共施設清掃作業等)及び冬期雇用対策救援事業(通学路等の除雪作業)として、厚生労働省の「冬季技能講習助成金・給付制度」の実施団体である登別勤労社企業組合と登別建設厚生企業組合(中小企業等協同組合法により設立)に委託して就労の場を提供する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 平成 2 2 年度 通年雇用対策救援事業従事者... 2 9 人 冬期雇用(除雪)対策従事者 ... 9 7 人
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	公共施設清掃等及び除雪作業に従事した 実人数	人	目標値	150	140	140	140
		実績値	126				
		人	目標値				
		実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	22,096	27,533	26,902	26,902	26,902	80,706
合 計			22,096	27,533	26,902	26,902	26,902	80,706
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	199	204			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		199	204			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 北海道や他市町村でも進めている事業であり、季節労働者の生活の安定を図るためにも、市が実施することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 暖冬等によって雪の量などが減っているが、季節労働者の生活安定には繋がっているため、どちらかといえば成果は上がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 暖冬等により雪の量が減っていることから除雪回数等も減っているため、向上させることは難しい。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ 雇用機会を確保するためには市の支援が不可欠であり、所要時間や予算などの削減は難しい。

担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	季節労働者等の生活安定を図るため、雇用の場の提供と通年雇用の促進を目的としている事業であり、現在も支援要望が強いことから、維持が必要である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）